EA121AL([上カップ付]スプレーガン)取扱説明書

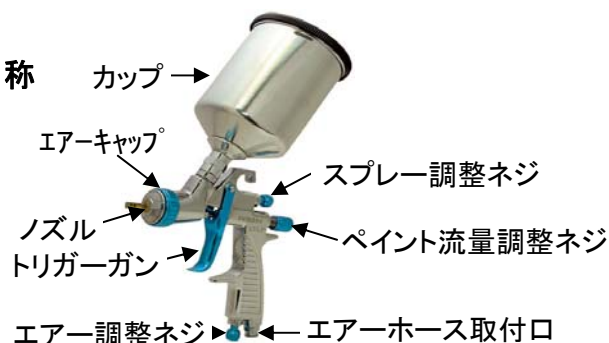
このたびは当商品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
使用に際しましては取扱説明書をよくお読みいただきますようお願いいたします。

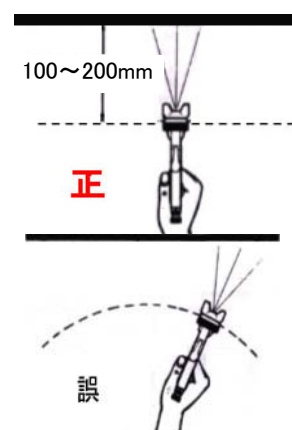
◆安全にご使用いただくために

- 安全のために、このマニュアルは重要な警告・所見を記載しています。
  その指示に従いご使用ください。
- 使用前に熟読し、理解するようにしてください。
- 今後の必要のために、このマニュアルは保管しておいてください。
- このマニュアルのすべての警告所見を必ず守ってください。
- 警告を守らなかった場合、重大な危害や塗料の流出を引き起こすかもしれません。
- この忠告を無視すると死傷者が発生するかもしれません。
- この忠告を無視すると死傷者や損害が発生するかもしれません。
- 機械の特性と機能のために必ず守ってください。

◆仕　様

●使用圧力…0.21MPa
●吐　出　量…130ℓ
●ノズル径・・・1.5mm
●取付ネジ…PF1/2”
●カップ容量…600mℓ
●所要コンプレッサー…1.5kw
●使用温度範囲…5℃～40℃

◆各部の名称

◆調　整

ステップ1…塗料の粘着性と特性に応じて空気圧が変わるため、
空気圧は0.1～0.11MPaに設定します
ステップ2…塗装距離100～200mmの間、近い距離での塗装を推薦します
吹き付ける面に対して、垂直に構え、水平に動かせてください

警　告

使用する前に、すべての圧力をリリースしてください。
熟練したオペレーターが取扱うようにしてください。

◆機能とメンテナンス

1.残りのペンキを他の容器に入れ替えた後 塗料経路とエアーキャップをきれいにしてください	1.不十分な手入れはつまりの原因となります 使用後は必ずきれいにしてください
2.拭く前に、シンナーなどで湿らせたブラシで 手入れを行なってください	2.スプレーガン全体を溶剤に浸さないでください パッキングや本体表面を劣化させる恐れがあります 部品を損傷することになります
3.分解します すべての塗料経路をきれいにしてください	3.ノズルを外すとき、ペイント流量調整ネジを開きながら、 トリガーを引いてください ノズルの前面のV溝が変形しないようにしてください 指をはさまないよう注意してください
4.ペイント流量調整ネジの調整 同梱のスパナをお使いください	4.ペイント流量調整ネジがかたい場合 それは滑らかでなく、正面で外すことができます

試験箇所	スペア部品規格
1.エアーキャップと流体ノズルホール	破損や変形があれば取替えてください
2.ワッシャーとオーリング	磨り減ったり、変形していれば取替えてください
3.ノズルとニードルバルブの金属板からのもれ	ノズルやニードルホールバルブをきれいに清掃した後 でもペンキが残っていた場合、部品を取替えてください その後、もれがないか確かめてください

ノズル交換：塗料経路をきれいにしてください
エアーコンプレッサーが動く前、圧力が除去され、OFFの状態になっていることを確認してください

◆失敗例と直し方

タイプ	症　状	直し方
空気の漏れ	1.ノズルとシートの間で空気が漏れる 2.ニードルバルブのワッシャーから漏れる 3.ネジが緩み、ペイントカップから漏れる	1.ノズルを開き、シートを掃除します 破損しているシートは取替えてください 2.ワッシャーを締めてください 3.もう一度締め直してください
半月型に塗布される	凝固したペンキが穴をふさぎ、全体から噴霧されず、偏った噴霧になっている	金属製ではないブラシを使い、ペンキを取除いてください
薄らぐ	1.ペンキ周辺とエアーキャップの部品の中央に固まりか損傷がある 2.ノズルがきちんとはまっていない	1.ペンキの固まりやごみを取り除き、損傷した部品は交換してください 2.ノズルを開き、新しいシートと取替え締め直してください
中央が狭くなる	1.ペンキの粘性が低い 2.スプレー圧が高い	1.適切な濃度にするため、ペンキを加えてください 2.ペンキ流量調整ネジを右に回してください
中央が厚くなる	1.ペンキの粘性が高い 2.スプレー圧が低い	1.シンナーを加え薄めてください 2.ペンキ流量調整ネジを左に回してください
分岐する	1.ノズル、ニードルの金属シートの劣化 2.注入物が漏れる 3.エアキャップの内側にペンキが溜まる	1.ノズルかニードルを清掃するか取替えてください 2.ノズルかニードルを取替えてください 3.エアキャップを清掃してください

◆ 問題点と直し方

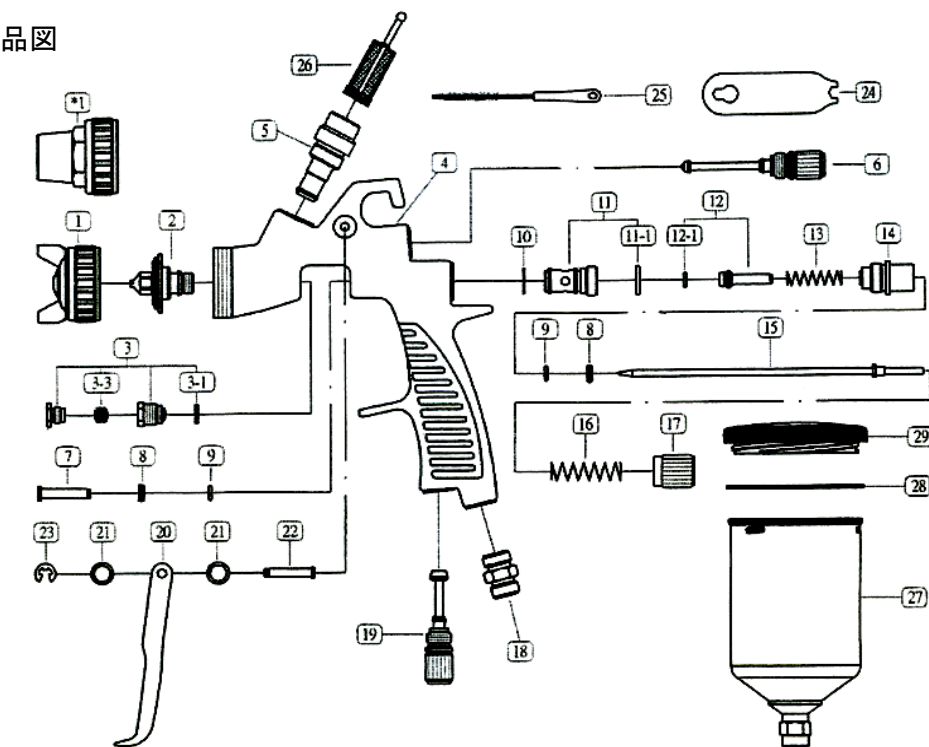
問　題　点				直し方			
状　況	場　所	確認箇所	症　状	締め直す	調整する	清掃する	交換する
塗料の漏れ	スプレーガン前面	ノズル～ニードルホールバルブまで	メタルシートに不純物が付着または破損している			○	○
			ペイントスイッチが緩い		○		
			ニードルホールバルブのバネが緩い				○
		ノズル～本体まで	据付が不十分	○			
			メタルシートに不純物が付着または破損している			○	○
		ニードルホールバルブワッシャー	ニードルホールワッシャーが締められバルブが固い		○		○
			ニードルホールバルブにペンキが付着し動かない		○	○	
	ニードルホールバルブワッシャー	ﾆｰﾄﾞﾙﾎｰﾙﾜｯｼｬｰ～ﾆｰﾄﾞﾙﾎｰﾙﾊﾞﾙﾌﾞﾜｯｼｬｰまで	磨耗している	○			○
		ニードルホールバルブワッシャー	閉まりにくい	○			
塗料が出ない	スプレーガン前面	ペイントノズル	穴が異物で塞がっている			○	
		ﾆｰﾄﾞﾙﾎｰﾙﾜｯｼｬｰ～ﾆｰﾄﾞﾙﾎｰﾙﾊﾞﾙﾌﾞﾜｯｼｬｰまで	ペンキが固まっている			○	○
			ニードルホールワッシャーが閉まりすぎ		○		○

状　況	場　所	確認箇所	症　　状	締め直す	調整する	清掃する	交換する
エアー漏れ（フロントエンドから漏れる）	エアーバルブ	エアーバルブ	メタルシートに不純物が付着または破損している			○	○
		エアーバルブメタル	メタルシートに不純物が付着または破損している			○	○
		メタルシート	ニードルホールバルブのバネが緩い				○
		O−リングワッシャー	品質劣化または損傷している				○

警　告
- **爆発する可能性のある環境下での使用はやめてください**
- **充分換気された場所で使用してください**
- **作業中は必ず、防護メガネ、防護マスク、手袋を装着してください**
- **本体に限度を超える圧力をかけないでください**
- **絶対に人や生き物に向けて使用しないでください**

安全上の注意

- 作業場は充分明るくしてください。
- 作業場には子供を近づけないでください。
- 無理な使い方はしないでください。作業にあったエアー工具を使用してください。
- 作業時は作業に適した服装をしてください。
- 作業工具は注意深く手入れをしてください。エアーホース、接続部、スイッチなどは損傷していないか、その他定期的に点検してください。握り部、スイッチは常に乾かしきれいな状態を保ってください。
- エアー工具を運ぶときは、エアーホースを外してください。不用意にスイッチが入ることがあり、危険です。
- エアー工具を使用するときは、取扱い方法、作業方法、回りの状態を把握して、慎重に作業してください。
- 作業前には、可動部の位置、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての個所に、異状、損傷がないか確認してください。
- 改造はしないでください。本機の寿命を著しく損ねる場合が有り、ご使用者が怪我をする場合が有ります。また、作業工程に支障を来たす場合が有ります。

◆部品図

1. エアキャップ
＊1. エアーキャップ
2. 流体ノズル
3. 流体ニードルパッキングセット
3−1. ガスケット
3−3. シール
4. 本体
5. 流体ニップル
6. スプレー調整ネジ
7. エアーバルブシャフト
8. パッキングホルダー
9. ガスケット
10. ガスケット
11. エアーバルブシートセット
11−1. O−リング
12. エアーバルブシートセット
12−1. O−リング
13. エアーバルブスプリング
14. ペイント流量調整ガイドセット
15. 流体ニードル
16. ニードルスプリング
17. ペイント流量調整ネジ
18. 空気注入口ニップル
19. エアー調整ネジ
20. トリガー
21. ガスケット
22. トリガー取付ピン
23. E−リング
24. スパナ
25. ブラシ
26. フィルター
27. アルミカップ
28. ガスケット
29. 蓋

株式会社　エスコ
本社／〒550-0012 大阪市西区立売堀３−８−１４
TEL（06）6532-6226　FAX（06）6541-0929